

# 【優 秀 賞】 配管後付け伝熱フィン「OPFF」



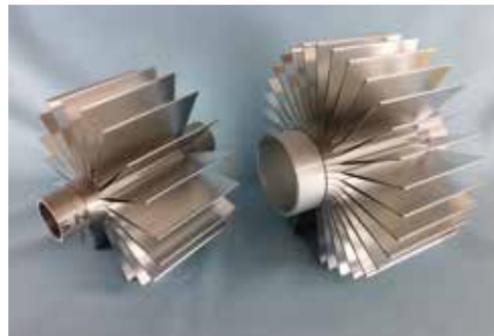
代表取締役社長  
鈴木 滋朗 氏

株式会社最上インクス

〒615-0034 京都市右京区西院西寿町5

TEL.075 (312) 8775

<https://standardfin.saijoinx.com/>



化学プラントをはじめ、多様な工場、設備などで使われている既設の配管に、後から巻き付けて熱交換面積を拡大し、配管内を流れる気体や液体の温度を下げることができる。後付け可能な伝熱フィン業界で初めてで、配管まわりに簡単に巻き付けができ、後付けにもかかわらず配管と薄板伝熱フィンのすき間が少ないことから、放熱性に優れている。配管設置後の思わぬ熱課題が発生した場合に、後からでも対応できるほか、フィン一体型の配管と違って交換作業も容易に行える利点がある。

配管に後付け可能な薄板伝熱フィンは、受託加工で培った独自開発による金型不要の生産設備・工法を応用し、薄板金属材料を折り曲げて製作する。軽量、フレキシブルなどの特徴を生かして、配管などの曲面に巻き付けることが可能。フィンの高さ、ピッチ、設置間隔などが自由に設計でき、多様な配管径にも柔軟に対応できることから、生産設備や配管、プラントなどの設計自由度の向上が見込める。放熱性が良いと、配管の長さを短くしたり、設備のコンパクト化、省資源化といったことにも寄与できる。後付けで熱課題に対応できれば、メンテナンス回数の削減なども見込める。